

おわりに

現在のところ、ウシ核移植技術はほぼ確立したとはいえ、新知見が得られるにつれまだまだ技術開発の余地がある技術です。今回、家畜改良センターにおいてこれまでに取り組んできた方法をマニュアルにしましたが、今後の技術発展に伴って当マニュアルも改訂が必要になってくると考えられます。

これからウシ核移植に取り組もうとされる方は、当マニュアルを参考にして頂ければ望外の喜びです。

最後に、今回のマニュアル作成にあたってセンターでの技術確立のためのデータ蓄積にご協力いただきました技術第一課で核移植技術を研修された方々に感謝するとともに、これまで家畜改良センターにおいて、核移植によるクローン牛の生産にご協力いただいた企画調整室業務管理課と技術部技術第一課の各位に深く感謝いたします。

(家畜改良センター技術部技術第一課

金山佳奈子・小林修司)



家畜改良センター 技術マニュアル 3

ウシ核移植マニュアル

著 者／家畜改良センター技術部技術第一課

金 山 佳奈子・小 林 修 司

発 行／農林水産省 家畜改良センター

企画調整室 企画調整課

発行日／平成11年3月

印刷所／不二印刷株式会社